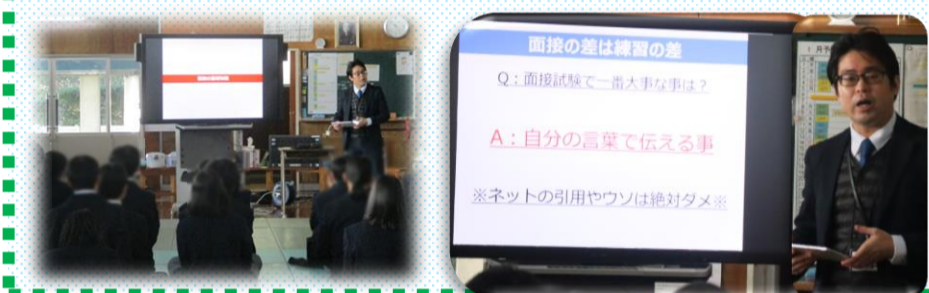




1・2年生模擬面接マナー指導 1月26日(月)実施

3月の模擬面接会に向けて、マナー講座がありました。本年度はJ S コーポレーション様から講師の先生をお招きし、身だしなみやお辞儀の角度などの立ち居振る舞いから、面接で重視していること、自己分析の方法などの面接で話す内容の考え方についてご講演いただきました。1・2年生とも真剣に話を聞き入っている姿が印象的でした。

ご講演の中で「マナーや所作は、やればやるだけ自分の身につけていくので、繰り返し練習をすることが大事である」というお話が特に生徒の印象に残っていたようです。来月の模擬面接会への準備時間だけでなく普段の学校生活の中で、先生方への接し方や言葉遣い・授業中の自分の態度などを振り返って「その場にふさわしい所作や言葉遣いができているか」ということを考えながら過ごしてほしいです。



私たち、こんな授業を受けています！ ～選択授業3つを紹介します～

KAGURA

「KAGURA」とは、日本の伝統芸能である「神楽」のことです。太良高校では、選択授業で1年生3名、2年生6名、3年生5名が広島県芸北地方に伝わる「芸北神楽」を学んでいます。芸北神楽は、舞と演奏が融合して演劇性と娯楽性を高めながら独自の進化を遂げています。授業は、和楽器(大太鼓・小太鼓・手打ち鉦・笛)の演奏や舞の技能を高めつつ、物語ができた背景や歴史なども学ぶことができます。授業選択者のほとんどが和楽器演奏未経験者ですが、講師の先生方に丁寧に教えていただき、どの生徒も自信をもって演奏できるまで上達することができています。今年度は、年末に行われた成果発表会で初めて、生徒が舞にチャレンジし、見ている人たちに感動を与えました。また、技術に磨きをかけたいと、1年から3年次まで継続して選択する生徒も多く、来年度の文化祭や年度末の発表会に向け、毎週楽しく練習をしています。



～生徒保健委員会の活動報告～

本校では、生徒が自身の健康を維持・改善することができる力を身につけてもらえるよう、生徒保健委員会を中心に啓発活動を行っています。前期は、熱中症や食中毒予防についての掲示物作成や、昼休みに熱中症予防等についての校内放送をしました。後期も、新型コロナウイルス等の感染予防を促すための校内放送や、保健委員が率先して教室の換気を行っています。また、教室内の温度・湿度・二酸化炭素濃度の記録、トイレトペーパーホルダーの作成や生理用品の補充など、環境整備も行っています。

さらに、今年度は生徒からの要望により自動販売機のジュースの種類を増やしています。ただし、ジュースの飲み過ぎは健康に影響を及ぼすこともあるため、自身で考えながら選択してもらえるように、実際販売されているジュースのペットボトルを使用して、各々に含まれる砂糖の量を塩で代用して掲示物を作成しました。「ジュース1本にこんなにも砂糖が入っているのかと驚いた飲み方を改めようと思った」と話す生徒もいました。

学校生活を送るにあたって、健康管理は基本です。規則正しい生活はもちろん、近年では新型コロナウイルス感染症や熱中症の予防なども重要となっています。様々な活動を通して、健康に関心を持ち、健康管理につなげてもらえればと思います。今後も生徒保健委員と活動しながら、生徒ひとりひとりが健康への意識を高めてもらえるよう支援していきたいです。(保健部)



日本文化

日本文化の一つである「茶道」を学んでいます。授業は畳が敷いてある作法室で行われており、織田先生と副島先生に来ていただいて、部屋への入退室の方法から、礼の仕方や歩き方、袱紗のさばき方、お茶の点て方、お菓子のいただき方など一通りの作法を学びます。その後、生徒はおもてなしする側と、もてなされる側に分かれ、より実践的な形式で作法を学びます。生徒の多くは、畳の上での正座や、お茶と和菓子を口にしない経験がないため、初めのころは慣れないことに戸惑いが見られました。しかし、何度も練習を重ね、少しずつ慣れてくると、作法に自信がもて、凛とした立ち振る舞いができるようになりました。

普段の学校生活では味わえない、静かな空間で、気持ちを落ち着けて日本の文化に触れるという貴重な経験をしています。



和菓子をいただきます

お茶を点てています、緊張します

野球部 太良町内駅伝大会で敢闘賞

1月28日(日)太良町内駅伝大会が4年ぶりに開催され、本校野球部が参加しました。各地区からのチームに交じってのオープン参加ではありましたが、優勝の片峰地区の記録を約5分も上回る1時間6分39秒という好タイムでゴールし、オープン参加の1位チームに授与される敢闘賞を受賞しました。地元の皆様から温かいご声援をいただき、本当にありがとうございました。



有明海学

有明海学は2年生の選択授業で、現在12名の生徒が選択しています。6月には干潟体験を実施し、生徒たちは干潟の泥にまみれながら泳いだり、干潟に生息する生物との触れ合いを楽しんだりしました。9月には棚じぶ漁を体験しました。大きなじぶ網を使い、トビハゼやシラタエビ、イカ、ウナギなどを捕まえました。海中鳥居のごみ拾い活動や、干潟の泥を使った実験も行いました。実験では、干潟の泥には水質浄化の作用があることを学びました。今月は野鳥観察を実施する予定で、有明海に飛来する様々な渡り鳥について、鹿島市役所の協力のもと学習します。初めての体験も多くありますが、興味を持って取り組む様子が見られました。



水と墨汁

水と墨汁と干潟の泥